

寺報

龍正寺

日なた 150号

経妙
力法

日

廷



<令和 2年 11月>

宝龍会
護持会

令和2年お会式会法要

令和2年10月11日(日)

宗祖日蓮大聖人第
739 遠忌お会式会を
迎えました。

お万燈は檀信徒の
皆様が1つ1つお花
を開いて頂き真心の
こもったお万燈をお
供えいたしました。



位 職 一 言 (御遺文より)

段々と寒くなってきまして、紅葉の季節です。

日蓮大聖人御遺文「當體義鈔」より

『正直に方便を捨てて但法華經を信じ、南無妙法蓮華經と唱ふる人は、煩惱業苦の三道、法身般若解脱の三徳と轉じて、三觀三諦即一心に顯れ、其人所住の處常寂光土なり、能居所居身土色心、俱體俱用無三身、本門壽量の當體蓮華の佛とは、日蓮が弟子檀那等の中の事なり、是即ち法華の當體自在神力の顯す所の功能なり、敢て之を疑ふべからず之を疑ふべからず。』

「解説」 正直に方便の教を捨て、ただ偏に法華經を信じ、一心に南無妙法蓮華經と唱へる人は、煩惱・業・苦の三道の迷いも法身・般若・解脱の悟の三徳と轉じ、三觀の智も三諦の理も行者の一心の上に顯はれ、行者の住處はそのまま常寂光土である。居まう行者の身も、居まはる国土も、精神も肉體も本体のままの徳用が顯はれ、自然に法・報・應三身の如來の徳がとまはり、本門壽量品の當體蓮華

の仏となる。しかしながらこれは日蓮が弟子檀那等の行者に限られていることで、其の源は法華經の自体に在る自在神力の顕はす功德によるのである、決して疑ってはならない、疑ってはならぬとお教えになさられています。

法華經の教えを信じてお題目を唱えて下さい、必ず心の中にあるもやもやしたものがなくなります。

また新型コロナウイルスからものがれる事も出来ると思います。安穩な生活が出来ます事をお祈り申し上げます。

合掌

南無妙法蓮華經

No. _____
Date _____
僭越ではございますが

今月もおはすかしいことではございますが
寿報にのせていただき勿体なくと
なっております

我が此の土は安隱にして
天人常に充滿せり

と学びます中で何気ない日常を
安隱の浄土としなければと学びます
この日常にあり且々のくらしの景色に
感謝をさせていただきご守護に
御礼を申してゆきたく存じます

日常のくらしの中で何より大切なお水の
おかげさまを思ってみます

朝の洗面 トイレお洗濯 お風呂

台所手洗い お掃除 すべてお水のおかげ

さまでの暮らしがいただけるように思います
私事でお許し下さい

洗たく台の洗面等々すべてのことに朝は
今日もお世話になりますとたのみ
お題目を唱えます 夜は1日の清礼を
すべてにお題目を唱えます

背すじを伸ばして真面目に素直に真剣に
よろこびの御礼を申し上げます
ありがとうございますと低頭です

よろんべはよろんべかよろんでよろんべ連れて
よろんでやっくまうです
何事も良きに悟りてよろんでゆきたく
存じます ありがとうございます

南無妙法蓮華経 合掌

南無妙法蓮華經のお題目に尊いかかれて

初春の頃より 体調くずして 苦いぞいる 妹です。

どこの病院をたづねても 手術は出来ぬい 退平ばかりです。

困り果てていました。 ともかく お題目を必至に唱え

初めました。 ある日 南無妙法蓮華經の 唱え方から
少し違うのでほと 教えて下さりました。

一生懸命に唱え始めました。 その時 鏡の中に 御祈禱の
文字が浮んで来ました。 早速 お上人様 お願い致しました。

良き退平を頂きました。 10月11日 お会氏 10月18日 祈禱会の
法要の時に お願い 出来ました。 (10/19 手術の日)

お題目 信じて 苦いおは 薄皮剥くかごとくに 10/19 手術が
成功 しました。 ありがとうございます。

お題目 南無妙法蓮華經 信じて 心清らかに 心を磨く事に
気がつきました。 ありがとうございます。

私自身 先の短い人生で何か お題目を信じ 天に
生きて行こうと 思いました。 ありがとうございます。

合掌

南無妙法蓮華經

♡ 15分の妙法を頂いて

朝夕めっきり肌寒くなりましたね。コロナ禍の中、風邪を
ひきやすい時期にもなりました。例年以上に、くれぐれも
予防対策をしっかりといきましょう。

秋といえば毎年紅葉を楽しみにしていましたが、今年は
五人の孫達の七五三が楽しみでした。

我が子の時は思い出になるような事は何もしてあげられ
ませんでした。いっか孫が出来たら…。我が子にしてあげられ
なかった事をさせてもらいたいと思っていました。

お宮参りでの産着を七五三で仕立て直し、飾り等も準備
しました。

子供達が早々に写真撮りして、ハネルもプレゼントしてく
れました。とてもうれしく思いました。

ただ…心の中ではいつも孫達の事を初願させて頂い
ている龍正寺の日蓮大聖人の御前で、この孫達の晴水姿
を諸天神様にも見て頂きたいと思う気持ちもありました。

もちろん、龍正寺にて御初禱して頂く事にはなっていま
したが、私自身も仕事があり、子供達も予定があるので

自分の思いは他言しませんでした。

それが、孫達が七五三参りをする日でした。息子から、七五三の雰囲気も経験させたいので神社にも行くと聞きました。仕事が30分短縮になり、次の仕事まで15分ほど余裕が出来ました。次の仕事先は龍正寺のすぐ側でした。”着なれていない着物姿で孫達がかんぼっている!!”

”どうか事故・災難なく円満成就しますように”とお参りに行こうと駐車場に着くと、息子、娘の車がありました。お寺に入ると孫達五人が本堂で写真を撮っていました。

「よー!! まさに思い描いていた場面でした。この龍正寺で産まれた時から、御祈禱を受けて来た五人の晴れ姿です。宗祖 日蓮大聖人の御前で見させて頂けた事が…。感動し昂揚もおさえる事が出来ませんでした。

ほんの15分だけでしたが、心は十分に満され涙があふれました。御住職様に”よかったね。あなたの信心がこのような大いなる喜びを導いたのでしょうか。”と言われました。

「報恩感謝謝徳」

子孫達は御神仏に守られている。

法華經か御題目か進むべき道を導いて下さると
思いました。

家族全員で御題目を唱えれる事が倅です。

これからも子孫永劫法華經を御題目も唱えていける
様に精進したいと思えます。

「自分自身と対自する」

角ばった石が川の流氷の中では、いろんな所(石や岩)にぶつかりながら丸くなっていきます。

人も石と同じ様に人生の中のいろいろな出来事を通して角がとれたに穏やかな心を育てていくのではないのでしょうか。

生きている間、自分の中の我(自分が、自分がという我)というのはやっかいで、自分が正しい、悪い事はすべて相手が悪いとなる。でも、よく考えてみると嫌な事、悪い事は自分の鏡である、そのままの反応が出るだけ。

そこに気づき発する言葉を変えると自分自身が反省できる。いかに自分自身と向き合い己を知る事である。

話し聞かせる事はやさしいが、導き育てる事は難しい。お上人は、この事を実践されている。私達は、その導いていただいている事に気がかず、自分の我を出しては反省、気づきをもらい、1つずつ自分の中の我を無くしていく行程を学んでいる。

お上人より「それは、自分が自分の我じゃないのか？」その時はセコときてないので、くやしいから

泣く事がよくありました。

自分が納得できない、自分の我が出ている事で、反省して泣くという事はありませんでした。そんな事を繰り返していました。

ブツブツがせんせいの本の中に、自分に月券の事が大事
弱い気持ちに負けない「今は我慢する」「苦手な事でも
もう少し頑張る、そうして弱い心を克服していくのが
自分に月券のこと」と書かれています。

昔から私は、もうだめ、私には出来ないと逃げ
ていたつかけが50代になって来ています。結局は甘え
ていた事に気が付きました。(自分自身に甘えてた)

仕事では若い子に教えてもらう事が多く、苦しい、大変
と思う事もあります。努力する事は大事といいきかせ
今はトライしています。

その1つはパソコンです。10年前は文章を打つのが
やっとながたが、仕事で必要であり、それが出来ない
生活していけない事もあって継続して学んでいました。

今では、お寺のパソコン作業に携わるまでになりました。

自分自身の甘えを無くし日々精進していきたいと思
います。

— 子育てで“学ぶ”こと —

今年もあと2ヶ月となりました。コロナ禍で“外出自粛”があったにせいか、いつもよりとても早く感じます。

先日、私が“リズム”体調を崩した事がありました。夕飯の支度、洗たく物の片付け、お風呂の準備など、忙しい時間帯。横にならなければ気が合って”動かせ、また横になる…のくり返して、なかなか仕事事が進みません。3人の子どもも家にいたので声をかけて手伝ってもらいながら何とか乗り切りました。次の日の朝、一番に声をかけてくれたのは一番下の息子でした。「大丈夫？」と言って、おなかをさすってくれました。「ありがと。もう大丈夫!!」と答えると、安心した表情を見せてくれました。朝ごはんを食べる時、「かーか(お母さん)は、温かいお茶がいいんじゃないの？」と気づかせてくれた。心遣いのできる、やさしい子に育ててくれたなあとても嬉しく、有難く思いました。

そんな息子は学校でもボランティアをえん張っているようです。うさぎの飼育当番を、自分のグループ以外の担当の日でも参加し、皆の嫌がるフンの掃除をよくやっているそうです。

上の2人とはタイプが「違い、あまり体を動かしたり外へ遊びに行ったりしない事に、私は少しこのままで「いいのかな」と思っていました。それは、私が「体を動かすのが好きで」から、そうやってほしいという気持ちが強いかからそう思うだけで、一人一人良い所、タイプは同じ親から産まれても全然違うという事を改めて感じさせてもらうことが出来、そう思っていた自分を反省しました。

来年一番上の娘は成人します。また「また」子育ては続きますが、子育ては親育てと言われる様に、子どもから教わる事も沢山!! 正解が何なのか、正解はないのかもわかりませんが、一緒に成長していけるらいいなと思っています。

< 11月行事予定 >

11月11日(水) 9:00~

ワックスがけ

13日(金) 10:00~

{ 宗祖日蓮大聖人報恩会
小松原法難会
大古久尊天祈願会

18日(水) 10:00~

鬼子母尊神
七面大明神) 祈禱会

< 11月住職の予定 >

11月4日(水)

14:00 金華山御題目塚法要

11月29日 30日
(日) 月

身延波木井山円実寺

< 11月の予定 >

11月6日(金)

各々の時間で

清掃 準備

↓

↓

↓

11日(水)

9:00~

ワックスがけ

13日(金)

法要後

片付け 準備

14日(土)

各々の時間で

清掃 準備

↓

↓

↓

17日(火)